

JLMA®

The Japan Lock Manufacturer's Association

25

2014.7

会報^{2014.7} VOL. 25

特集1 第15回 定時総会報告

特集2 IEC/TC79 国際会議 (DDL プロジェクト会議) 報告



【平成25年度 JLMA 基本方針】

- ① 実用性能認定制度における製品申請の促進とグレードによる錠選択の環境整備
- ② 災害時（首都直下型地震等自然災害・火災）に備えた錠の保守点検制度の推進活動
錠の耐用年数ガイドラインの推進と広報活動
- ③ 錠の輸出促進を図るための情報収集及び行政との相互理解
- ④ 「防犯の日」による国民の防犯意識向上を図る施策検討
- ⑤ 日本ロック工業会法人化の検討（社会的地位の向上）

平成26年度の日本ロック工業会の方針は、防犯に関する様々な対応を図ることにより「CP商品」の存在価値を大いに高め、継続的な展開を図ることが必要であると考えています。このためにも、当会も行政と共に国民の防犯意識を高めていく活動を展開して行くことが必要であります。

CP錠の普及に関しては、相変わらず全体数に対して1.7%と低迷しており、5団体防犯建物部品普及促進協議会メンバーにおきましてもその低迷ぶりは同様であり、この問題を今後どのように対応して行くか5団体で検討した結果、CP商品の普及に必要なものは「国民の防犯意識向上」であると結論付け、この意識が5%でも向上すれば、このことが必ず経済効果へと繋がると信念をもって防犯活動を継続的に展開することが統一見解とされました。

5団体が団結するために「安全・安心防犯の日」を10月11日として制定し、そのスローガンとして「我が家を守るCP商品」を掲げ、官民合同会議の一員として、CP商品の鋭意促進を図ることを実施して参ります。

その活動の中のひとつとして昨年度は全国防犯協会連合会に「安全・安心防犯の日」を10月11日として制定することに賛同をいただき、全防連が全国各地で開催する「次世代防犯ボランティアリーダー育成研修会」に5団体で参加させていただき、CP商品の有効性を説明・周知させていただきました。研修会は毎年各地で実施されますので、今年度も積極的に5団体を中心となりCP商品のPRをさせていただくことになっております。

目的は、国民の防犯意識向上であり継続して展開して行きたいと思っております。

また、今年度より警視庁「警察博物館（京橋）」および「警視庁本庁参考室（霞ヶ関）」にCP商品のPRスペースを借用出来ることとなり、ここでの活動もCP商品の普及の成果に繋がるのではないかと期待します。

次の活動として、昨年度は、技術部会に努力いただき、IEC/TC79 デジタルドアロック規格の作成へ本格的に参画いたしました。

今後のデジタルドアロックの新たな交換市場となることを期待しており、韓国の製品が日本市場に参入してきたように、今後の交換市場の活性化を図るためにも大切な活動と考えます。

この交換市場が今後発展するならば、スタンドアロンタイプ電気錠の市場は日本の国内市場にとどまらず、海外輸出も考えられるのではないかと期待するとともに、当会も海外市場について広く見識を持つことが今後の事業展開に繋がると考えています。

次は、日本ロック工業会が展開する3つの施策である①実用性能認定制度、②錠の保守点検制度、③耐用年数のガイドラインの制定は、3つが関連することで世の中に錠を安全・安心に使用していただけることが出来るものです。

JLからはガイドラインが制定されたことにより日頃の商売においても成果が出ているとの意見も聞いております。また、我々がいち早く耐用年数を公表したことにより日本サッシ協会、日本シャッター・ドア協会、日本鋼製軽量ドア協議会においても反響があり、耐用年数の制定について検討していることを聞いております。耐用年数の重要性についてはこれからも認識が高まるのではないかと感じております。

我々の事業展開は、開発・生産・販売を手掛け、従業員の安定した生活を守る責任があるわけですが、もう一方には我々の展開する商品が防犯商品であるとするならば、国民の安全・安心を守る必須アイテムであると考えることが大切であり、事業展開と防犯活動をひとつのパッケージとして捉えることを基本として考えることが大切であります。

最後に来年度は役員改選となります。理事会において改選に関する意見をまとめていただきたくこととなりますが、理事の方々、各部会の責任者におかれましては活発な意見交換をしていただきたいと思いますと考えております。日本ロック工業会を継続・更なる発展をさせるために多くの方の意見をお聞きしたいと思っております。

今年度も各部会・各対応チームが精力的・効率よく活動し、会員の皆様へのご期待に沿って参る所存でございます。

会員各位に於きましては設立目的を改めて確認していただき、善良なる国民が、安心して生活できる世の中作りに貢献している団体として、今後も責任ある行動が大切であり、是非とも倍旧のご協力とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

今後も当工業会にご協力・ご尽力をいただきます企業ならびに担当者の皆様には改めて感謝と敬意を申し上げます。日本ロック工業会の行動に誇りと自覚を持って、今年も当工業会の活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。



理事の皆様



会員の皆様



佐佐木 業務・研修部会長



青木 技術部会長



坂上 制度部会長



CP審査委員会の大割試験員



会長 加藤 海士郎



副会長 木之瀬 茂



監事 太田 卓男



木村 事務局長

第16期 日本ロック工業会体制

会長	日本カバ株式会社	取締役会長	加藤海士郎
副会長	株式会社アルファ	代表取締役社長	木之瀬 茂
理事	株式会社 WEST inx	代表取締役社長	西 康雄
理事	株式会社 オプナス	代表取締役社長	峯村 陽一
理事	株式会社 川口技研	代表取締役社長	納口成一朗
理事	株式会社 計電産業	執行役員工場長	片海 好正
理事	株式会社 ゴール	代表取締役社長	岸本 俊仁
理事	美和ロック株式会社	代表取締役社長	和氣 英雄
理事	株式会社 ユーシン・ショウワ	代表取締役社長	新山 弘之
理事	株式会社 ユニオン	代表取締役社長	立野 純三
監事	株式会社 ベスト	取締役相談役	太田 卓男

平成26年5月22日
会長 加藤 海士郎

- 日時：2014年1月8日（水）～10日（金）
- 会場：如水会館コンファレンスルーム 東京都千代田区一ツ橋 2-1-1
- 出席者：4カ国 出席10名 オブザーバー18名
- 主催：JLMA 日本ロック工業会
- 最終日：美和ロック株式会社ショールーム見学



1. ミラノ会議までの経緯

	日付	内容	開催地
1	2010年1月26日	韓国からの新規提案が IEC/TC79 になされた	韓国
2	2010年7月2日	韓国からの提案に関し TC79 で議論することが決定	デルフト（オランダ）にて TC79 開催
3	2011年10月1日～2日北京会議	作業内容が WG11 で扱うのに専門性があるので新規のプロジェクトとして扱うことが決定	北京
4	2012年2月14日～15日ソウル会議	第1回目のキックオフ会議がソウル（韓国）で開催エキスパートとして宮本氏出席	ソウル（韓国）
5	2012年6月27日ドゥブナ会議	第2回プロジェクトチーム会議 確認と議論	ドゥブナ（ロシア）
6	2012年10月26日～27日北京会議	第3回のプロジェクト会議 確認と議論	北京（中国）
7	2013年1月25日パリ会議	パリにて CEN TC33 WG4 TC4 MDF と IEC TC 79WG 11DDL の共同会議	パリ
8	2013年5月29日	ソウルにて韓国の DDL の専門家会議原案に関する確認と議論	韓国規格協会（KATS）
9	2013年6月30日 CD 第1版の発行	IEC への CD 第1版の提案	IEC
10	2013年10月16日～18日ミラノ会議	第4回 DDL チーム会議と IEC TC79 会議 CD 第1版が発行されたことにより各国からの意見が多く出始め韓国が意見を取り入れ始めた	ミラノ（イタリア）

2. 会議日程

時間	内容
○ 2014年1月8日（水） 〈日時：2014年1月8日（水）10:00～17:00 / 場所：如水会館コンファレンスルーム〉	
1 09:30	開場
2 10:00～11:00	会議の開催挨拶と参加者の紹介 (加藤会長挨拶、相田 TC79 国内委員会委員長挨拶、議長挨拶、参加者自己紹介)
3 11:00～11:15	議題の承認
4 11:15～12:00	IEC/TC79 事務局からの連絡事項
5 12:00～13:00	昼食
6 13:00～17:00	ドラフトに関する審議
7 ※上記途中 (10:30～10:45)(15:00～15:15)	コーヒープレイク
8 17:00～19:00	ウエルカムパーティ
○ 2014年1月9日（木） 〈日時：2014年1月9日（木）09:00～17:00 / 場所：如水会館コンファレンスルーム〉	
1 9:00～15:00	ドラフトに関する審議
2 ※上記途中 (12:00～13:00)	昼食
3 10:00～10:15 / 15:00～15:15	コーヒープレイク
4 15:30～17:00	審議/決定事項確認（今回、未決事項がほとんどで議長国（韓国）の宿題となった。）
○ 2014年1月10日（金） 〈美和ロック株式会社ショールーム見学〉	



会議の開催挨拶する JLMA 加藤会長

会議にあたり挨拶する相田東大教授
(TC79 国内委員会委員長)

オブザーバーの面々



討議する JLMA 宮本プロジェクトメンバー

3.DDLプロジェクト会議名簿

種別	国名	氏名	所属	備考	種別	氏名	所属
出席者	JAPAN	宮本 敦	JLMA 美和ロック株	技術部会所属	オブザーバー	相田 仁	東京大学大学院工学系研究科教授
		青木 信道	JLMA 美和ロック株	技術部会所属		齊藤 範幸	(一社) 電気設備学会
		白井 俊之	JLMA (株)アルファ	技術部会所属		原口 正智	株WESTinx
		沼畑 薫	JLMA (株)アルファ	技術部会所属		大割 一明	株オプナス
	KOREA	Kabil Kim	Myongii 大学教授	学識経験者としての座長役		大谷 崇弘	株オプナス
		Sanghan Lee	SAMSUNG SDS	メーカーから		森下 富仁	株計電産業
		Yongbae Lim	韓国電気安全公社	韓国電気安全の試験期間		松本 拓也	株計電産業
		Jeehyang Kim	韓国デジタルドアロック協会	規格化のテーマリーダー		武居 竜夫	株ゴール
	CHINA	Wang Rongfu	Shenzhen Probuck Limited/CEO	メーカーから		坂上 晃一	日本カバ株
	SWEDEN	Inde Liden	ASSA ABLOY	メーカーから		石本 光一	日本カバ株
事務局		加藤海士郎	JLMA		秋山 史記	日本カバ株	
		木村 昌充	JLMA		林 誠二	株日本ロックサービス	
		桜井 一	JLMA		今泉 千春	株ベスト	
		益田 裕子	日本カバ株		和氣 英雄	美和ロック株	
通訳		北島 多紀	同時通訳		石川 始	美和ロック株	
		山崎伊佐子	同時通訳		喜多村弘之	ユーシン・ショウワ株	
		斉藤由美子	同時通訳		深田 泰平	株ユニオン	
					高木 博文	マツ六株	
合計					35		

4. 会議内容 (1月8日・9日の概要)

会議の進め方として、議長である韓国の Kim 教授より、1月6日に各国にメールで配付された規格案「2nd CD (WD)_Digital Door Lock System Standard.13-12.30」にて審議を進めるとの提案がありました承された。規格原案の最初から内容確認がスタートした。途中、規格案の中に入っていたはずのコメント等が抜けていたことから、一回前に配付された規格案「result_Digital -Door Lock System Standard.13-12.15」を使用して会議が継続された。議長より二日目9日(木)に会議の進め方を日本側と協議して、11時から開催することが決まった。審議としては、初日と二日目で行ったり来たりの内容であったため、項目毎に結論や問題点の内容を記載することとなった。

[コンテンツ]

1. 「Scope (範囲)」
2. 「Normative references (引用規格)」
3. 「Terms and definitions (用語と定義)」
4. 「Requirements (必要条件)」
5. 「Testing methods (試験方法)」

◎会議の最後に、Liden 氏が皆が納得できる規格案にするにはまだまだ時間がかかると思うとの発言があり、全く同意見であると感じた会議であった。



参加者全員の集合写真

[1月8日 ウェルカムパーティ]



閉会の挨拶をする JLMA 和氣理事



乾杯の発声 Mr.Jeehyang Kim と Mr.Kabil Kim



各国の代表と歓談するプロジェクトメンバー

事業目的

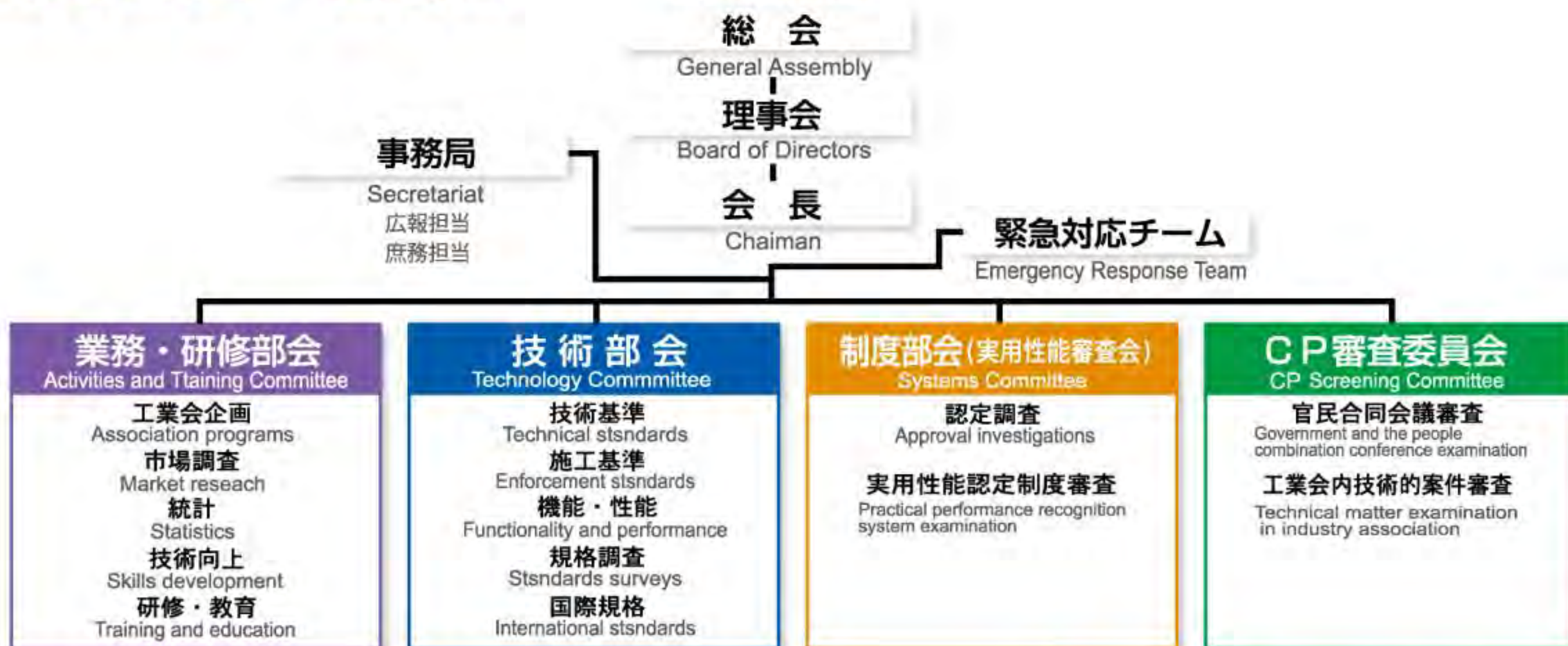
暮らしを見つめ社会を支え未来を築く「キーステーション」それが **JLMA**® 〈ジルマ〉 です。
The Japan Lock Manufacturer's Association

主要活動項目

- 1 使用者が適正な錠選択ができるよう、安全に関する錠の規格、基準、審査規定の制度および開示
- 2 エンドユーザーに対する錠の正しい「知識」と「防犯・防災」の啓発
- 3 関係業界との良好な関係の維持・発展
- 4 関係官庁との情報収集と情報提供
- 5 会員相互及び関係業界との連絡・相談の窓口
- 6 国際競争力の強化の方針
- 7 関連海外規格資料の調査整備
- 8 錠前取扱技術者資格認定制度の制定
- 9 ISO規格・JIS規格等の各種規格の整合性に関すること
- 10 関連法律に対する業界の統一对応

会員会社・組織図

組織図 Organization Chart



● 業務・研修部会 Activities and Training Committee	● 技術部会 Technology Committee	● 制度部会(実用性能審査会) Systems Committee
部会長会社 株式会社 ゴール GOAL CO.,LTD. 副部会長会社 株式会社 アルファ ALPHA Corporation 株式会社 ユーシン・ショウワ U-SHIN・SHOWA LTD.	部会長会社 美和ロック 株式会社 MIWA LOCK CO.,LTD. 副部会長会社 株式会社 ゴール GOAL CO.,LTD. 株式会社 WEST inx WEST INX.,LTD.	部会長会社 日本カバ 株式会社 NIHON KABA K.K. 副部会長会社 美和ロック 株式会社 MIWA LOCK CO.,LTD. 株式会社 川口技研 KAWAGUCHI GIKEN Inc.
● CP審査委員会 CP Screening Committee		
株式会社 アルファ ALPHA Corporation 株式会社 シブタニ SHIBUTANI CO.,LTD.	株式会社 WEST inx WEST INX.,LTD. 日本カバ 株式会社 NIHON KABA K.K.	株式会社 オブナス OPNUS CO.,LTD. 合資会社 堀商店 HORI LOCKS & BUILDER'S HARDWARE

正会員 (五十音順) Regular Member

- | | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--|--|--------------------------------------|
| ●株式会社 アート
ART JAPAN CO.,LTD. | ●株式会社 川口技研
KAWAGUCHI GIKEN Inc. | ●株式会社 ジャパンモドリック
Japan modric ltd. | ●株式会社 日本ロックサービス
Nihon Lock Service co.,LTD. | ●美和ロック 株式会社
MIWA LOCK CO.,LTD. |
| ●株式会社 アルファ
ALPHA Corporation | ●株式会社 計電産業
KEIDEN SANGYO CO.,LTD. | ●東洋シャッター 株式会社
TOYO SHUTTER CO.,LTD. | ●株式会社 日中製作所
HINAKA MFG CO.,LTD. | ●株式会社 ヤナイ
YANAI COMPANY LTD. |
| ●株式会社 WEST inx
WEST INX CO.,LTD. | ●株式会社 ゴール
GOAL CO.,LTD. | ●株式会社 長沢製作所
NAGASAWA MANUFACTURING CO.,LTD. | ●株式会社 ベスト
BEST Inc. | ●株式会社 ユーシン・ショウワ
U-SHIN・SHOWA LTD. |
| ●株式会社 オブナス
OPNUS CO.,LTD. | ●株式会社 シブタニ
SHIBUTANI CO.,LTD. | ●日本カバ 株式会社
NIHON KABA K.K. | ●合資会社 堀商店
HORI LOCKS & BUILDER'S HARDWARE | ●株式会社 ユニオン
UNION CORPORATION |

賛助会員 (五十音順) Supporting Member

- | | | | | |
|--|---|--|---|--|
| ●アイホン 株式会社
AIPHONE CO.,LTD. | ●杉田エース 株式会社
SUGITA ACE CO.,LTD | ●株式会社 東海理化電機製作所
TOKAI RIKI CO.,LTD. | ●株式会社 栃木屋
TOCHIGIYA CO., LTD. | ●株式会社 プィ・シー・イー・ジャパン
VCE Japan Corporation |
| ●アトムリビテック 株式会社
ATOMLIVINTECH CO.,LTD. | ●株式会社 大黒製作所
DAIKOKU DOOR LOCK CO.,LTD. | ●東急建設 株式会社
TOKYU CONSTRUCTION CO.,LTD. | ●株式会社 ニッケンハードウェア
NIKKEN HARDWARE CO.,LTD. | ●株式会社 フキ
FUJI CO.,LTD. |
| ●共栄工業 株式会社
KYOEI INDUSTRIES Co.,LTD. | ●株式会社 ダイワロックス
Daiwa Locks CO.,LTD. | ●株式会社 トーショビルサービス
TOSHO BUILDING SERVICE.,LTD. | ●日本ロックセキュリティ協同組合
The Co-operative Association of Japan Lock Security | ●マツ六 株式会社
MATSUROKU CO.,LTD. |
| ●株式会社 五味製作所
Gomi Company Limited | ●タキゲン製造 株式会社
TAKIGEN MFG. CO.,LTD. | ●株式会社 トーヨーコー
TOYOKO CO.,Ltd. | ●株式会社 ファースト・ロック
FIRST LOCK CO., LTD. | ●株式会社 ミズタニ
MIZUTANI CO.,LTD. |

2014年6月1日現在 (As of Jun 1, 2014)

理事会

◎平成25年12月11日 第47回 定時理事会

- 場 所 京都ホテルオークラ：京都
 - 議案内容
 - 第1号議案 理事変更・承認の件
 - 第2号議案 各部会活動中間報告ならびに承認の件
 - 第3号議案 第7回 防犯建物部品自主点検委員会報告・承認の件
 - 第4号議案 安全・安心「防犯の日」進捗状況報告
5団体防犯建物部品普及促進協議会報告
 - 第5号議案 日本ロックセキュリティ協同組合合同委員会報告
 - 第6号議案 中間収支報告の件
 - 第7号議案 その他
 - 1. 会員種別変更承認の件
 - 2. ベターリビング優良住宅部品認定基準報告の件
 - 3. 官民合同会議試験員登録の件
 - 4. 住宅性能表示見直し報告の件
- 以上、議案については原案通り異議なく承認可決ならびに確認された。

◎平成26年4月14日 第48回 定時理事会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 - 議案内容
 - 第1号議案 第15期事業報告書（案）承認の件
 - 第2号議案 第15期収支決算報告書（案）承認の件
 - 第3号議案 第16期事業計画（案）承認の件
 - 第4号議案 第16期収支予算（案）承認の件
 - 第5号議案 実用性能認定制度承認の件
 - 第6号議案 その他
- 以上、議案については原案通り異議なく承認可決ならびに確認された。



第47回定時理事会会長挨拶

業務・研修部会

◎第150回 業務・研修部会 平成25年6月6日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
 - 1) 警視庁講演について
 - 2) 総会報告
 - 3) 関東管区警察学校への講師派遣について
 - 4) JLとの意見交換会について
 - 5) 25年度事業計画（案）について
 - 6) ID媒体と各社の情報管理について

◎第151回 業務・研修部会 平成25年6月26日

- 場 所 関東管区警察学校：東京
- 議事内容
 - 1) 関東管区警察学校にて講義（受講者=28名）
 - 2) 錠の仕組みについて
 - 3) CP錠の防犯性能について

◎第152回 業務・研修部会 平成25年9月18日

- 場 所 エル大阪：大阪
- 議事内容
 - 1) 電気錠基準WGについて
 - 2) 実用性能認定制度試験について
 - 3) 安全・安心「防犯の日」について
 - 4) 海外普及促進について
 - 5) JLMA、JL合同会議について
 - 6) 新規会員募集について

◎第153回 業務・研修部会 平成25年11月19日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
 - 1) 錠の実用性能表示認定品検索システムについて
 - 2) 25年度事業計画前期中間報告について
 - 3) 25年度事業計画達成への課題
 - 4) 海外輸出アンケートについて

◎第154回 業務・研修部会 平成25年12月3日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
 - 1) 実用性能認定制度認定品検索システムについて
 - 2) 優良住宅部品認定基準について
 - 3) 25年度事業計画について
 - 4) デジタルロック国際会議について

◎第155回 業務・研修部会 平成26年3月25日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
 - 1) 会長挨拶
 - 2) 実用性能認定制度検索システムについて
 - 3) H26年度事業計画（案）について

◎第156回 業務・研修部会 平成26年5月13日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 内 容
 - 1) JLの現状・交流・改選について
 - 2) JIS原案について
 - 3) 警視庁展示・防犯防災総合展について
 - 4) 実用性能認定制度 パンフレット作成について

◎第1回 キー複製検討委員会 平成25年9月5日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
 - 1) スペアキー（合鍵複製）作業登録者の継続審議について
 - 2) 純正キー複製の識別方法について
 - 3) マスターキーの識別方法の資料取扱いについて
 - 4) 防犯に関する法制化（案）検討について

◎第2回 キー複製検討委員会 平成25年11月12日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
 - 1) スペアキー作製業者登録の継続審議について
 - 2) 純正キー複製の識別方法について
 - 3) 防犯に対する法制化（案）について

◎第3回 キー複製検討委員会 平成26年5月29日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
 - 1) スペアキー作製業者登録の継続審議について
 - 2) 純正キー識別方法について
 - 3) 防犯に対する法制化（案）について



第153回業務・研修部会



第1回キー複製検討委員会

技術部会

◎第94回 技術部会 平成25年7月19日

- 場 所 エル大阪：大阪
 ■議事内容
 1) グレモン錠規格化について 2) デジタルドアロックについて
 3) JIS 改定の件 4) 海外規格と法制度について

◎第95回 技術部会 平成25年9月13日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1) グレモン錠の規格化について 2) デジタルドアロックについて
 3) JIS 改定について 4) 海外規格と法制度について
 5) 非常錠の規格について 6) 電気錠認証部の規格化について

◎第96回 技術部会 平成25年11月15日

- 場 所 エル大阪：大阪
 ■議事内容
 1) グレモン錠の規格化について 2) JIS 改定について
 3) デジタルドアロックについて

◎第97回 技術部会 平成26年1月17日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1) グレモン錠の規格化について 2) デジタルドアロックについて
 3) 窓用自動施錠金具について 4) JIS 改定について
 5) 非常錠の規格化について

◎第98回 技術部会 平成26年3月14日

- 場 所 エル大阪：大阪
 ■議事内容
 1) グレモン錠の規格化について 2) デジタルドアロックについて
 3) JIS 改定について 4) 非常錠の規格化について
 5) 窓用自動施錠金具について
 6) 日本サッシ協会からの「サッシ・ドア施工要領」見直しについて

◎第99回 技術部会 平成26年5月16日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1) グレモン錠の規格化について 2) デジタルドアロックについて
 3) JIS 改定について 4) 非常錠の規格化について



第95回 技術部会

◎第8回 JIS 改正内部委員会 平成25年6月21日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1) 現在までの審議内容の再確認 第1部⇒19項目 第2部⇒5項目
 2) 今後の進め方

◎第9回 JIS 改正内部委員会 平成25年8月23日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1) 実用性能認定制度の試験審査委員会でのレビュー報告
 2) 経済産業省への報告事項
 3) JIS 改正内容の再レビュー

◎第10回 JIS 改正内部委員会 平成25年10月30日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1) トルク試験に関して
 2) デッドボルト側圧試験（衝撃荷重）について
 3) 規格協会への公募など本委員会の準備について

◎第11回 JIS 改正内部委員会 平成25年12月20日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1) トルク試験に関して 2) 耐じん試験の件
 3) 試験方法その他の確認 4) 解説の残す部分の確認
 5) 公募について

◎第12回 JIS 改正内部委員会 平成26年2月21日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1) 経済産業省の公募ヒヤリングに関して
 2) 本委員会での書類の件

◎第13回 JIS 改正内部委員会 平成26年2月27日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1) 分科会検討書類の最終確認

◎第1回 JIS 改正原案作成委員会分科会 平成26年4月11日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1) 外部委員への JIS 改正の説明・質疑 2) 本委員会に向けて資料準備

◎第1回 JIS 改正原案作成委員会本会議 平成26年5月12日

- 場 所 如水会館：東京
 ■議事内容
 1) 加藤会長挨拶及び委員会メンバー紹介 2) 本委員会資料の説明
 3) JIS A 1541-1 改正案の説明 4) JIS A 1541-1 改正案に関わる質疑事項
 5) JIS A 1541-2 改正案の説明 6) JIS A 1541-2 改正案に関わる質疑事項

◎第1回 IEC 国際会議 (DDL チームプロジェクト会議)

- 日 程 平成26年1月8～9日
 ■場 所 如水会館：東京
 ■議事内容
 1) DDL 規格化に向けた各国の意見発表と審議



第11回 JIS 改正内委員会



第1回 IEC 国際会議 (DDL チームプロジェクト会議)

制度部会

◎第9回 実用性能審査委員会 平成26年3月27日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1) 試験所新規申請について 2) 試験項目追加申請について
 3) サーベイランス申請について 4) 製品申請について



第9回 実用性能審査委員会

◎第39回 実用性能審査会 平成25年7月24日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1) 新規試験所申請会員の質疑について 2) 申請製品の確認
 3) 日程確認 4) 当制度へのQ&A 5) 要領書の変更
 6) JIS改正内容 申し送り事項の確認
 7) JCSS(校正事業者認定制度) 校正の必要性の検討

◎第40回 実用性能審査会 平成25年9月27日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1) 製品申請報告・確認
 2) グレード表示(6ヶタ概念) 市場における諸問題
 3) 実用性能要領書改定について 4) 研修会実施内容について

◎第41回 実用性能審査会 平成25年11月8日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1) グレモン錠の規格化について 2) デジタルドアロックについて
 3) 窓用自動施錠金具について 4) JIS改定について
 5) 非常錠の規格化について 6) 第98回技術部会開催予定
 7) 第12回JIS改正内部委員会予定

◎第42回 実用性能審査会 平成26年3月26・27日

- 場 所 株式会社ゴール九州工場：佐賀
 ■議事内容
 1) ゴール社実用性能認定制度試験所追加申請(耐じん試験)
 2) JLMA試験所認定審査員の講習会実施

◎第21回 審査会(東日本分科会) 平成25年6月27日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1) JIS改正要望事項について 2) Q&A
 3) 要領書改正、製品変更申請の義務について

◎第22回 審査会(東日本分科会) 平成25年8月20日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1) 加藤会長挨拶
 2) 要領書改正・グレード変更にならない場合の変更申請について
 3) 実用性能表示のQ&A 4) 次回予定

◎第23回 審査会(東日本分科会) 平成26年2月25日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1) (株)長沢製作所の試験所審査の回答確認
 2) 各社サーベイランス回答書確認

◎第15回 審査会(西日本分科会) 平成25年6月21日

- 場 所 北館いせシティプラザ：伊勢
 ■議事内容
 1) JIS改定案について 2) 今後の実用性能の進め方について
 3) 2013年度版実施要領書改定について
 4) WEST inx アムスラー試験機変更申請

◎第16回 審査会(西日本分科会) 平成25年9月03日

- 場 所 クレオ大阪東：大阪
 ■議事内容
 1) JLMA実用性能認定制度・実用性能表示に関するQ&Aについて
 2) JIS改正事項について
 3) 実用性能認定制度の申請要領及び様式改定について
 4) 新規製品申請について

◎第17回 審査会(西日本分科会) 平成26年2月14日

- 場 所 クレオ大阪中央：大阪
 ■議事内容
 1) ユーシン・ショウワ試験所サーベイランスについて
 2) WEST inx 試験所サーベイランスについて
 3) 上記試験所サーベイランスを終えての感想等、問題点について
 4) ゴール耐塵試験機追加申請について
 5) JIS A 1541-1 の7.6耐塵試験の『ブランキー』文言について

◎第1回 審査会教育研修 平成25年11月8日

- 場 所 株式会社ゴール九州工場：佐賀
 ■議事内容
 1) JLMA試験所認定審査員の講習会実施

◎第1回 JLMA試験所審査 平成25年11月7・8日

- 場 所 株式会社ゴール九州工場：佐賀
 ■議事内容
 1) ゴール社実用性能認定制度試験所追加申請(耐じん試験)

◎第2回 JLMA試験所審査 平成25年11月28・29日

- 場 所 株式会社長沢製作所：埼玉
 ■議事内容
 1) 作業工程の確認・審査 2) 管理書類の審査
 3) 試験実施審査等 4) 審査会メンバー研修

◎第3回 JLMA試験所審査 平成26年2月25日

- 場 所 株式会社長沢製作所：埼玉
 ■議事内容
 1) 作業工程の確認・審査 2) 管理書類の審査 3) 試験実施審査

◎第4回 JLMA試験所審査 平成26年3月6日

- 場 所 株式会社長沢製作所：埼玉
 ■議事内容
 1) 作業工程の確認・審査 2) 管理書類の審査 3) 試験実施審査



第22回 審査会(東日本分科会)

制度部会



JLMA 試験所審査

◎第1回 JLMA 試験所審査(サーベイランス)平成26年1月23日

- 場 所 株式会社ユーシンショウワ：京都
- 内 容 サーベイランス

◎第2回 JLMA 試験所審査(サーベイランス)平成26年1月23日

- 場 所 日本カバ株式会社：横浜
- 内 容 サーベイランス

◎第3回 JLMA 試験所審査(サーベイランス)平成26年1月24日

- 場 所 株式会社 WEST inx：大阪
- 内 容 サーベイランス

◎第4回 JLMA 試験所審査(サーベイランス)平成26年1月24日

- 場 所 株式会社アルファ：横浜
- 内 容 サーベイランス

◎第5回 JLMA 試験所審査(サーベイランス)平成26年1月30日

- 場 所 株式会社オプナス：埼玉
- 内 容 サーベイランス

◎第6回 JLMA 試験所審査(サーベイランス)平成26年1月31日

- 場 所 株式会社川口技研：埼玉
- 内 容 サーベイランス

◎第8回 保守点検制度管理委員会 平成25年7月23日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
 - 1) 加藤会長より「防犯の日」コンセプト及び必要性について説明があった
 - 2) 「キーの運用方法に関する検討委員会(仮称)」事業方針の決定
 - ・スペアキー作成業者登録の継続審議
 - ・純正キー複製の識別方法
 - ・マスターキーの識別方法
 - ・委員会名称は「キー複製検討委員会」とする
 - 3) 「錠の保守点検制度管理委員会」事業方針の決定
 - ・保守点検契約に関する実績統計資料の集計
 - ・啓蒙用パンフレットの作成検討

◎第9回 保守点検制度管理委員会 平成25年12月6日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
 - 1) 保守点検契約に関する統計資料について
 - 2) 今後の広報活動方針について
 - 3) 保守点検作業マニュアルの作成について
 - 4) 「住宅点検の日」報告

CP審査委員会

◎第127回 平成25年6月7日

- 場 所 大阪府立労働センター：大阪
- 議事内容
 - 1) ピッキング性能試験(不定期)申請受付(1社1品目)
 - 2) 追加変更申請(1社2品目)

◎第128回 平成25年7月18日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
 - 1) 電気錠追加申請の確認(1社1品目) ・リーダー部の追加

◎第129回 平成25年8月21日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
 - 1) ピッキング性能試験(不定期)受付(1社3品目)
 - 2) 追加・変更申請(2社2品目)について
 - 3) CP試験員登録について

◎第130回 平成25年9月20日(臨時)

- 場 所 株式会社アルファ：横浜
- 議事内容
 - 1) 特許申請に対する今後のJLMAの方向性と意見調整について

◎第131回 平成25年9月26日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
 - 1) 追加・変更(2社2品目)
 - 2) 不定期ピッキング試験(1社3品目)

◎第132回 平成25年11月14日

- 場 所 株式会社アルファ：横浜
- 議事内容
 - 1) CP試験結果の審議
 - 2) 追加変更申請(3社4品目)
 - 3) 特許出願の扱い方等の各社意見と今後の方向性について

◎第133回 平成26年1月30日

- 場 所 株式会社ゴール：大阪
- 議事内容
 - 1) 変更追加申請
 - 2) 試験申請(2社2品目)
 - 3) ピッキング性能試験申請について
 - 4) 今後の審査委員会の審査内容の扱い方に関する件
 - 5) その他
 - ①試験委員登録(電気錠試験委員の案件含む)について
 - ②電気錠基準書WGについて

◎第134回 平成26年2月28日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
 - 1) CP追加・変更申請(2社3品目)および自主点検報告(1社)
 - 2) CP試験申請受付(2社3品目)
 - 3) CP試験員登録について
 - (WEST inx、日本カバ、ゴール、日本防犯設備協会)

◎第135回 平成26年3月6日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 内 容
 - 1) 耐ピッキング性能試験実施



第135回 官民審査委員会

ピッキング性能試験

◎第20回 ピッキング性能試験 平成25年7月18日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 内 容 耐ピッキング性能試験実施(1社1品目)

◎第21回 ピッキング性能試験 平成25年9月26日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 内 容 耐ピッキング性能試験実施(1社3品目)

◎第22回 ピッキング性能試験 平成26年3月6日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 内 容 耐ピッキング性能試験実施(1社1品目)



ピッキング性能試験

官民合同会議試験 (CP)

◎第18回 官民合同会議試験 平成25年11月14日

- 場 所 株式会社アルファ：横浜
- 議事内容
 - 1) CP試験結果の審議
 - 2) 追加変更申請(3社4品目)
 - 3) 特許出願の扱い方等の各社意見と今後の方向性について
 - 4) その他



第18回 官民合同会議試験

自主点検委員会

◎第30回 平成25年6月7日

- 場 所 大阪府立労働センター：大阪
- 議事内容
 - 1) 自主点検スケジュールと購入製品について

◎第31回 平成25年8月21日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
 - 1) 8/21=電気錠の確認
 - 2) 8/22=一般錠の確認
 - 3) その他



第31回 自主点検委員会

官民試験員講習会及び体力測定

◎体力測定 平成25年9月19日

- 場 所 港北スポーツセンター：横浜
- 内 容
 - 1) 文部科学省に基づく新体力テストの実施9/19(参加者28名)



体力測定

◎講習会 平成25年9月20日

- 場 所 株式会社アルファ：横浜
- 内 容
 - 1) CP試験員技術講習会9/20(参加者21名)



CP試験員技術講習会

部会長会議

◎第4回 平成25年6月11日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
 - 1) JLMA会報Vol.24掲載内容の検討
 - 2) 実用性能広報用パンフレット内容について
 - 3) 事業計画「防犯の日」に関する今年度各部会活動について

◎第5回 平成25年11月27日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
 - 1) 第47回定時理事会に向けた各部会活動中間報告
 - 2) その他



第5回 部会長会議

5 団体防犯建物部品普及促進協議会

◎第127回 平成25年6月7日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1) メンバー紹介 2) 官民合同会議活動計画について
 3) 今年度の活動について
 4) 全紡連 HP アクセス数及びHP 管理費用について 5) その他

◎第128回 平成25年7月22日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1) 常設展示場の現状報告及び各団体対応の件
 2) DVD、展示パネル改訂について
 3) (仮称)「防犯の日」制定の活動方針について
 4) 住宅部品点検の日シンポジウム報告の件
 5) 防犯防災総合展 in 関西経過報告

◎第129回 平成25年8月23日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1) 「防犯の日(仮称)」の活動について
 2) 5団体パネル・DVD改訂(案)について
 3) 「防犯防災総合展 in 関西」開催について
 4) 住宅部品点検の日シンポジウム報告の件 5) その他

◎第130回 平成25年9月30日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1) 防犯防災総合展 in 関西について
 ・展示品・ブース担当確認 ・展示パネル(案)検討
 2) 安全・安心「防犯の日」活動計画・活動計画(案)検討
 ・ニュースリリース(案)検討

◎第131回 平成25年11月25日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1) 全国防犯協会連合会「次世代防犯ボランティア講習会」について
 2) 警察博物館のCP製品展示について
 3) 安全・安心「防犯の日」活動計画(案)の各団体の意見調整
 4) 住宅性能表示制度の評価項目範囲の見直しについて

◎第132回 平成25年12月24日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1) 住宅性能表示見直しについて(国土交通省)
 2) 全国防犯協会連合会「次世代防犯ボランティア講習会」について
 3) 警察博物館のCP製品展示について
 4) その他 日経セキュリティショー2014出展について

◎第133回 平成26年1月20日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1) 次世代防犯ボランティア講習会について(全国防犯協会連合会)
 2) 警察博物館CP製品展示についての予算(案)検討
 3) 日経セキュリティショー2014出展について

◎第134回 平成26年2月24日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1) 次世代防犯ボランティアリーダー育成研修会報告
 2) 5団体協議会活動年間計画および予算(案)について
 3) その他(CP商品出荷実績、次回開催日)

◎第135回 平成26年3月24日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1) 次年度5団体協議会活動について
 2) 安全・安心「防犯の日」の活動計画について
 3) 防犯防災総合展 in KANSAI 2014について 4) CP商品出荷量実績報告
 5) 関東管区警察学校専科開催予定の件 6) その他

◎第135回 平成26年5月19日

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1) 5団体防犯建物部品普及促進協議会 ①警察博物館及び警視庁 参考室にCP錠を展示 ②説明方法の最終確認 ③その他



第135回 5団体防犯建物部品普及促進協議会

警察関連講演等

◎第1回 平成25年6月26日

- 場 所 関東管区警察学校：東京
 ■講義内容
 1) 関東管区警察学校にて講義(受講者=28名)
 ・錠の仕組みについて ・CP錠の防犯性能について
 2) 講師=業務・研修部会(高岡氏)

◎第2回 平成25年7月12日

- 場 所 警視庁本部庁舎17階大会議室：東京
 ■講義内容
 1) 錠の変遷と警察官に期待するもの
 2) 講師=JLMA加藤会長 3) 受講者=220名

◎第3回 平成26年1月22日

- 場 所 大阪府警察学校：大阪
 ■講義内容
 1) 錠前の基礎知識
 2) 防犯性の高い建物部品(錠前)と防犯性能試験制度について
 3) 警察署生活安全課で勤務する巡査部長、巡査長及び巡査 27名
 4) 講師=業務・研修部会(西・大牧氏)

◎第4回 平成26年2月13日

- 場 所 愛知県警本部：名古屋
 ■講義内容
 1) CP錠の防犯性能をパワーポイントにて説明
 2) 講師=業務・研修部会(保立氏)



第2回 警察関連講演

公益社団法人日本防犯設備協会

◎第1回 RBSS 審議会 平成25年11月29日

- 場 所 (公社)日本防犯設備協会：東京
 ■議事内容
 1) LED防犯灯のRBSS品目追加について

次世代防犯ボランティアリーダー育成研修会

◎第1回(東北地区) 平成26年1月18日

■場 所 KKRホテル仙台：仙台

■研修内容

- 1) 次世代防犯ボランティア東北地区講習会 参加者→1道6県から約60名
・目的/高齢化が進む防犯ボランティアの次世代リーダーの育成
1. 防犯性能の高い建物部品(CP)の説明
2. 防犯性能についての実演による説明

◎第2回(九州地区) 平成26年1月28日

■場 所 電気ビル共創館：福岡

■研修内容

- 1) 次世代防犯ボランティア九州地区講習会 参加者→8県から約70名
・目的/高齢化が進む防犯ボランティアの次世代リーダーの育成
1. 防犯性能の高い建物部品(CP)の説明
2. 防犯性能についての実演による説明

◎第3回(中部地区) 平成26年2月15日

■場 所 KKRホテル名古屋：名古屋

■研修内容

- 1) 次世代防犯ボランティア中部地区講習会
・目的/高齢化が進む防犯ボランティアの次世代リーダーの育成
1. 防犯性能の高い建物部品(CP)の説明
2. 防犯性能についての実演による説明



第3回 次世代防犯ボランティアリーダー育成研修会

日本ロックセキュリティー協同組合意見交換会

◎第1回 平成25年6月28日

■場 所 アジュール竹芝：東京

■議事内容

- 1) 創立15周年を迎え、更なる組合発展のため賛助会員の意見を聴く会を開催。

◎第2回 平成25年7月23日

■場 所 日本ロック工業会：東京

■議事内容

- 1) 加藤会長より「防犯の日」コンセプト及び必要性について説明があった
2) 「キーの運用方法に関する検討委員会(仮称)」事業方針の決定
・スペアキー作製業者登録の継続審議
・純正キー複製の識別方法
・マスターキーの識別方法
・委員会名称は「キー複製検討委員会」とする
3) 「錠の保守点検制度管理委員会」事業方針の決定
・保守点検契約に関する実績統計資料の集計
・啓蒙用パンフレットの作成検討
・その他

◎第3回 平成25年8月8日

■場 所 学士会館：東京

■議事内容

- 1) 「防犯の日(仮称)」の展開について
2) 「キー複製検討委員会」開催について
・スペアキー作製業者登録の継続審議の件
・純正キー複製の識別方法
・マスターキーの識別方法の資料取扱いについて
・防犯に関する法制化(案)検討について
・マスターキーの識別方法の資料取扱いについて
・防犯に関する法制化(案)検討について



第1回 日本ロックセキュリティー協同組合意見交換会

防犯建物部品「CP錠」の普及活動

◎平成25年10月17~18日

防犯防災総合展 in KANSAI 2013

■場 所 インテックス大阪

■展示内容

- 1) 各会員会社のCP面付錠の紹介・展示
2) 5団体作成防犯推進パネル&パンフレット展示配布
3) 5団体用防犯DVD放映



防犯防災総合展 in KANSAI 2013：インテックス大阪

◎平成26年3月4~7日 SECURITY SHOW 2014

■場 所 東京ビッグサイト

■展示内容

- 1) 5団体協議会参加企業のCP商品・パネル展示、パンフレット配布
(防犯商品カタログ、パンフレットを800部配布)
2) JLMAはCP錠を展示



SECURITY SHOW 2014：東京ビッグサイト

東京都安全・安心まちづくり協議会総会

◎第11回 平成25年6月27日

■場 所 都庁第一庁舎：東京

■議事内容

- 1) 平成24年度の協議会活動概要報告について(JLMAとして1.CP錠普及、2.耐用年数ガイドラインの啓蒙、3.保守点検制度の理解、4.実用性能認定制度の啓蒙)
2) 平成25年度の協議会活動方針・活動計画について(JLMAからは1.「防犯の日」制定に関する施策検討、2.首都圏直下型地震に備える保守点検への推進)
3) 東京都安全・安心まちづくり協議会規約の改正について(団体名称変更に伴う改正が主)
4) 東京都安全・安心まちづくり条例施行10周年記念式典の開催について

平成26年度事業計画

● 業務・研修部会 Activities and Training Committee

1. “安全・安心「防犯の日」”の会員及び一般ユーザーへの周知活動
警察庁「全国地域安全運動」、全国防犯協会連合会「安全・安心な街づくりの日」、リビングアメニティ協会「住宅点検の日」、官民合同会議「5団体防犯建物部品普及促進協議会」等の防犯活動と連携を取り“安全・安心「防犯の日」”の展開について検討をする。
2. デジタルドアロック基準の確立と今後の方向性の内容を技術部会に確認した上で、対応を検討する。
3. 錠の輸出促進に関してアンケート調査結果を基に工業会としてのサポート項目を絞り込み理事会に提案する。
4. 実用性能認定製品の申請拡大のため今年度中の申請予定の確認を行う。また、グレード表示の必要性の広報活動及び販売促進活動として、ホームページの活用をし、検索システムを完成させる。
5. 実用性能認定制度、錠の耐用年数、保守点検制度の普及の為のパンフレットを他部会の協力を得ながら作成し、公共建築協会・高層住宅管理業協会等に認知活動を行う。
6. JIS改訂による変更箇所の周知活動を事務局と連携して行う。
7. 法人化の検討に関しては、理事会の決定に基づき活動する。
8. JLとのコミュニケーションの充実

● 技術部会 Technology Committee

1. 実用性能認定制度の運用への協力 試験実施要領書（要請に応じ）に見直しを検討する。
2. JIS規格を改正する
4月より、JIS原案作成委員会を開催する（本委員会3回、分科会4回を予定）（会議運営費として予算50万円程度計上）
3. JLMA規格の新基準の作成
 - ①JLMA規格の新規作成
 - 1) グレモン錠の規格書完成
 - 2) 非常錠の規格書の完成
 - 3) 電氣的認証部の評価規準の検討
 - ②JLMA規格の見直し
 - ・錠の標準仕様 JLMA A2005-1,2,3 の見直し。
 - ・Cjk（長期使用住宅部材標準化推進協議会）基準書の切り欠き寸法を JLMA 規格に取り込む。
4. 日本サッシ協会試験規格部会・国際対応部会への参加
1回/月参加（2名予定）
5. IEC/TC79デジタルドアロック規格作成への参加
 - ・韓国での打合せ出張費用1名
 - ・10月アメリカで開催の年次大会でのデジタルドアロックの会議への出席2名

● 制度部会（実用性能審査会）Systems Committee

1. 実用性能認定制度：製品申請及びグレード表示の促進（実用性能審査会WG）
 - ①新規 JLMA 試験所審査、製品審査、試験所サーベイランスの実施 計画；試験所サーベイランス 1～3社（3月迄）
 - ②製品申請の受付及び審査
計画：7社28品目（アンケート結果による）随時受付 錠25品目・シリンダー2品目・室内錠1品目計上
 - ③審査会メンバーの教育研修
計画：講習会及び試験所審査実施研修等
 - ④実用性能認定制度運用上の問題処置検討
計画：各社より提議された問題点は随時受付審査会の議案として討議
2. 錠の保守点検制度：（管理委員会）
 - ①管理委員会による実施運用状況の定期的フォローアップの実施
計画：JL側との定期会合（管理委員会）による意見交換
3. 横断的活動
 - ①JLMA マーク（実用性能認定制度）の認知度の向上
 - ②「耐用年数ガイドライン」の周知活動
4. 会議開催
 - ①実用性能認定制度審査委員会 1回/年
 - ②実用性能審査会WG会議（合同） 6回/年
 - ③実用性能審査会WG分科会（関東） 6回/年
 - ④実用性能審査会WG分科会（関西） 6回/年
 - ⑤JLMA 試験所審査及びサーベイランス審査 1～3件
 - ⑥JLMA/JL 保守点検管理委員会会議 2回/年

● CP 審査委員会 CP Screening Committee

1. 官民合同会議関連の全ての審査

- ①官民試験（一般錠＋電気錠）／ピッキング性能試験
- ・平成 26 年 4 月 17 日／第 18 回官民【再】試験／アルファ本社
 - ・平成 26 年 10 月／第 19 回官民試験／アルファ本社
 - ・平成 27 年 3 月／第 20 回官民試験／アルファ本社
 - ・随時／ピッキング性能試験／ JLMA 事務局
 - ※永続的な内部規定の見直しで CP 製品の普及促進を図る
- ②CP 試験員 WG（一般試験員講習会指導）
- ・平成 26 年 9 月／一般試験員の体力確認／港北スポーツセンター横浜
 - ※一般試験員の適正体力を確認する
 - ・平成 26 年 9 月／一般試験員技量の維持と均一化／アルファ本社
 - ※ベテラン試験員の技量維持と若手試験員の技量の底上げを図る



2. JLMA 内の技術的案件に対する全ての審査

- ①CP 審査委員会
- ※CP 製品追加・変更申請の審査とその他技術的案件の審査を行う
- ・平成 26 年 4 月 17 日／第 1 回／アルファ本社
 - ・平成 26 年 8 月／第 3 回／ JLMA 事務局
 - ・平成 26 年 10 月／第 5 回（CP 試験開催）／アルファ本社
 - ・平成 27 年 2 月／第 7 回（CP 受付）／ JLMA 事務局
 - ・平成 26 年 6 月 24 日／第 2 回／ JLMA 事務局
 - ・平成 26 年 9 月／第 4 回（CP 受付）／ JLMA 事務局
 - ・平成 26 年 12 月／第 6 回／関西地区
 - ・平成 27 年 3 月／第 8 回（CP 試験開催）／アルファ本社
- ②電気錠基準 WG
- ※電気錠認証装置性能の規格化を実現する
 - ※電気錠認証装置の性能表示を企画する
- ③予備審査管理 WG
- ※CP 試験内規と基準管理を通じて実試験省略の目安を随時具現化していく
 - ※ピッキング性能試験の追加事項等の制定を行う

3. 自主点検委員会

- ①第 9 回自主点検実施
- ・平成 26 年 6 月 24 日／事前打合せ～詳細決定／関西地区
 - ・平成 26 年 8 月（2 日間）／点検実施／ JLMA 事務局
 - ※対象 40 品目前後（電気錠は次年度での実施）
- ②是正確認
- ・平成 26 年 10 月／アルファ本社

● 事務局 Secretariat

1. “安全・安心「防犯の日」”（スローガン：我が家を守る CP 商品）の周知活動
 - ① 5 団体防犯建物部品普及促進協議会活動を中心とした周知活動を展開する。
 - ② 関連省庁、関連団体、全防連等の企画とタイアップした周知活動を展開する。
2. デジタルドアロック（DDL）基準の確立と今後の方向性の検討
 - ① 関連省庁、関連団体における国内外の情報収集と各部会活動への協力
3. 錠の輸出促進を図る施策検討
 - ① JLMA 会員の意向調査に基づいた情報収集と各部会活動への協力
4. 実用性能認定製品の申請拡大と周知活動
 - ① 関連省庁、関連団体に対する JLMA 試験所および認定製品の優位性を周知させる。
 - ② JLMA 試験所取得会員企業の HP 等での周知方法の検討をおこなう。
5. 錠の耐用年数ガイドラインの広報活動
 - ① 日本ロックセキュリティ協同組合の意向・実績を踏まえた周知方法を管理委員会において検討する。
6. JIS 改訂による変更箇所の周知
 - ① JIS 改訂原案作成委員会発足・開催への協力と改訂後の関連省庁・関連団体へ改訂内容の周知活動を展開する。
7. 日本ロック工業会法人化の検討（社会的地位の向上）
 - ① 法人化の検討に関しては理事会の判断に基づき活動を展開する共に経済的効果について検討し結論をまとめる。
8. JL とのコミュニケーションの充実

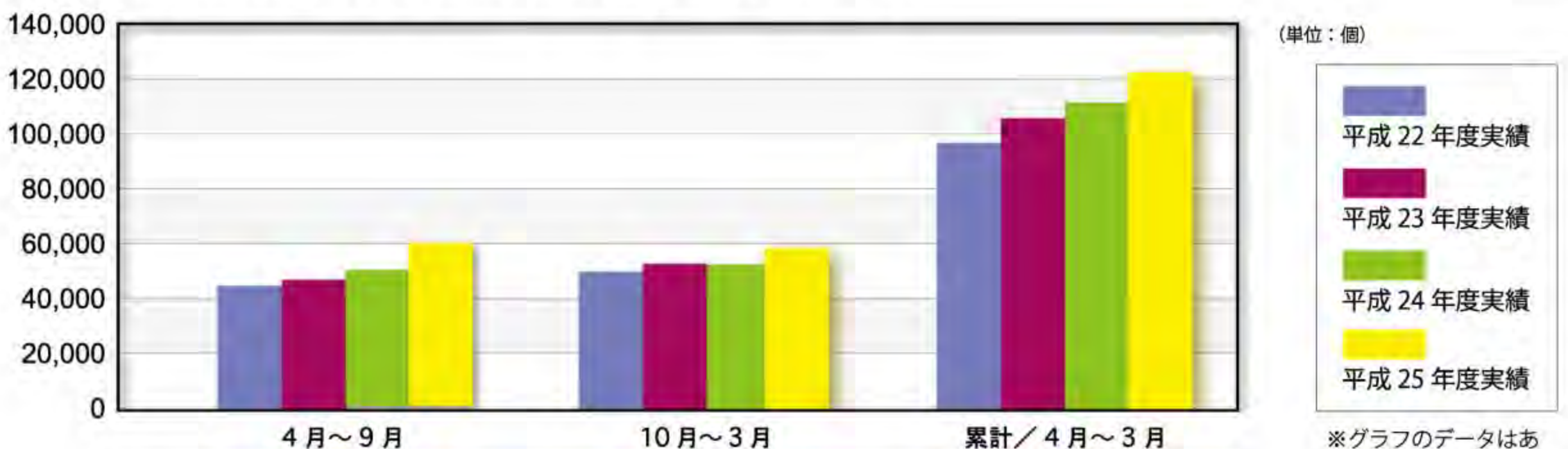
関連資料〈業務・研修部会〉

25年度JLMA防犯建物部品の普及情報

名称	種別	上期／平成25年4月～9月			下期／平成25年10月～平成24年3月			年間／平成25年4月～平成26年3月		
		指定建物錠	防犯建物部品	CP/指定建物錠	指定建物錠	防犯建物部品	CP/指定建物錠	指定建物錠	防犯建物部品	CP/指定建物錠
シリンダー錠		1,805,748	59,233	3.28%	2,095,975	61,527	2.94%	3,901,723	120,760	3.10%
シリンダー		1,339,998	60	0.00%	1,471,375	56	0.00%	2,811,373	116	0.00%
サムターン		121,140	405	0.33%	133,218	771	0.58%	254,358	1,176	0.46%
平成25年度実績		3,266,886	59,698	1.83%	3,700,568	62,354	1.68%	6,967,454	122,052	1.75%
平成24年度実績		3,230,760	55,457	1.72%	3,443,811	58,527	1.70%	6,674,571	113,984	1.71%

(単位：個)

防犯建物部品出荷数推移比較（平成22～25年度）

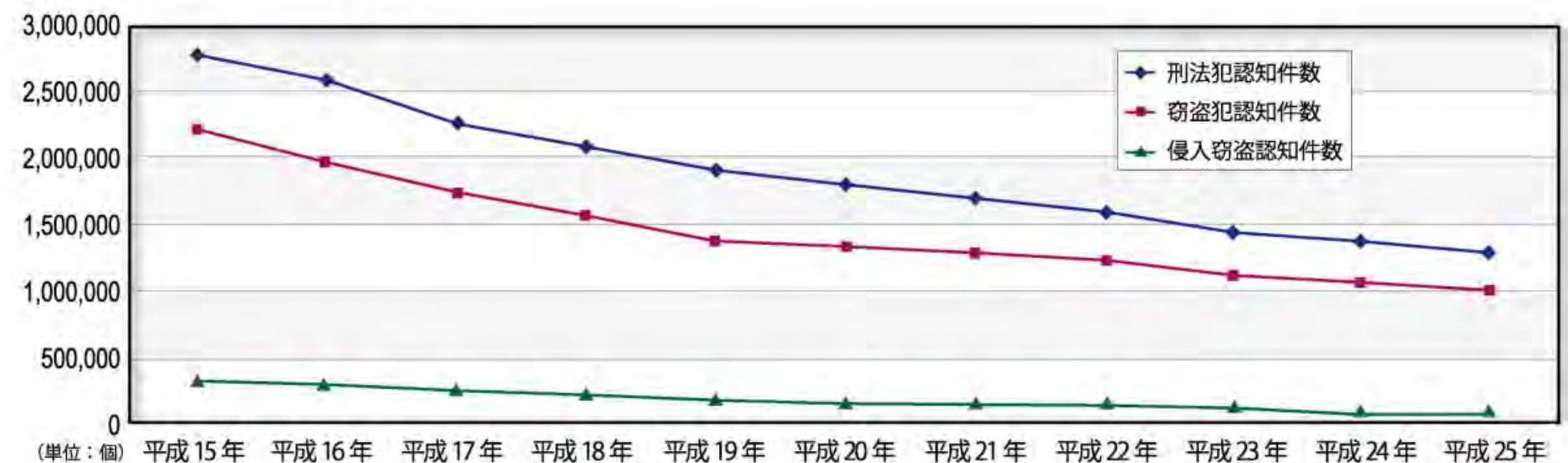


(単位：個)

◇平成25年度の指定建物錠の合計出荷数量は、前年比104%（29万3000個）と増加した。防犯建物部品の出荷数量は、前年度の107%と増加した。防犯建物部品が指定建物錠総数に占める割合も前年度1.71%から1.75%に増加しており、2年連続で増加傾向にあるが、全体で見るとCPの普及率が少ない。

※グラフのデータはあくまでも防犯建物部品のデータのみ。

警察庁統計 認知件数



(単位：件)

区分	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
刑法犯認知件数	2,790,136	2,562,767	2,269,293	2,050,850	1,908,836	1,818,023	1,703,044	1,585,856	1,480,760	1,382,121	1,320,678
窃盗犯認知件数	2,235,844	1,981,574	1,725,072	1,534,528	1,429,956	1,372,840	1,299,294	1,213,442	1,133,125	1,040,447	986,272
侵入窃盗認知件数	333,233	290,595	244,776	205,463	175,728	155,047	148,488	136,552	126,079	115,155	107,467

◇刑法犯の認知件数は、平成14年まで7年連続して戦後最多を記録していたが、平成15年は前年に比べ2.2%減少し、以後、平成16年は8.1%、平成17年は11.5%、平成18年は9.6%、平成19年は6.9%、平成20年は4.8%、平成21年は6.3%、平成22年は6.9%、平成23年は6.6%（10万5,091件）と9年連続減少した結果、平成22年の認知件数は148万765件となり、平成14年と比べ48.1%減少しているものの、更なる消費者の防犯に対する意識を高め、JLMAの進める防犯建物部品を選択してもらえるような取組みが必要である。

出典：警察庁



株式会社五味製作所

昭和38年に精密機械部品切削を主として出発し製作段階別の固有加工技術の開発発展により、工業用計器・工業用ロックに、シェアを拡大してまいりました。メカトロニクスにエレクトロニクスを複合させたロック開発が行われ、様々な電子部品に組み込まれ小型化、高精度化の需要は高まっています。さらにセキュリティ分野における安全対策として当社の使命はますます重要度を増しています。生命と財産の安全を見つめ、安心のための研究開発の成果を質の高い製品に反映し、「職人氣質」を持ち続け、古き良き時代の心を持って未来を志向する企業でありたいと願っています。



〒391-0013
長野県茅野市宮川字中島5593番
TEL:0266-72-3831
FAX:0266-72-3879
URL:<http://www.gomi.co.jp/>

株式会社シブタニ

Clavisは「大切な生命と財産を守る」というシンプルで大きな命題を持っています。さらに1年後、5年後の近未来のビジョンをも視野に入れた鍵の開発を使命としています。



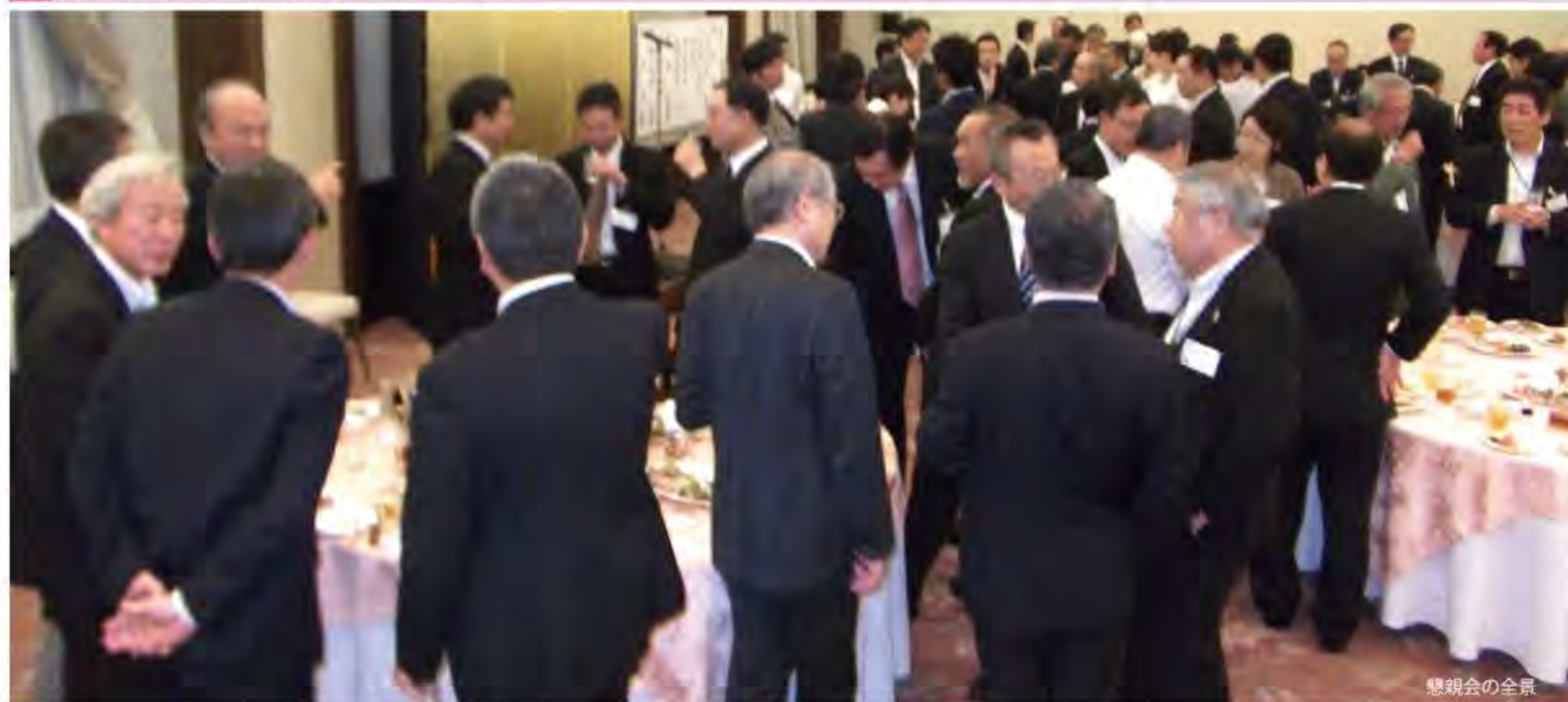
鍵はポケットにしまったままで施錠・解錠する。
これが、これからのスタンダードです。

Tebra

株式会社シブタニ

〒542-0082 大阪府大阪市中央区島之内 2-13-7
TEL (06) 6211-7335 (代)
URL <http://www.shibutani.co.jp/>

第15回 定時総会懇親会



懇親会の全景

平成26年度 第15回定時総会懇親会は、5月22日（木）に東京都千代田区霞ヶ関の法曹会館「富士」において、加藤会長の開会挨拶に始まり、ご来賓の警察庁の鈴木様、国土交通省の中野様、続いて経済産業省の古谷野様からお祝辞をいただき、関係団体の皆様29団体47名のご臨席を賜り盛大な会が執り行われました。



警察庁
課長 鈴木様



国土交通省
課長補佐 中野様



経済産業省
課長補佐 古谷野様



開会の挨拶
加藤会長



乾杯の挨拶
木之瀬副会長



中締め挨拶
太田監事



受付の片岡さん（右）と
司会を務めた益田さん

「日本ロック工業会 第15回 懇親会」会長挨拶

ただいま紹介いただきました日本ロック工業会の加藤海士郎でございます。

これから申し上げます計画内容でございますが、5つ大きな点がございまして、まずCP錠のさらなる普及促進活動、2番目に実用性能認定商品の普及促進活動、3番目に耐用年数ガイドラインの周知徹底活動、4番目に錠の保守点検制度の周知活動、5番目に輸出促進活動を大きな課題として新しい年度における事業活動内容に組み入れさせていただいております。

CP錠のさらなる普及促進活動でございますが、皆さんご存じ通り世界第一級の安全性を誇るCP錠官民合同会議の仕様に基づいた商品でございます、この安全性はさらに普及活動を展開する必要がございます。ご存じ通り官民合同会議に関しまして5団体でございます防犯建物普及促進協議会という会がございますが、毎月1回の頻度で会合を開いております。

手前の者をこの一年間幹事役を務めさせていただきましたが、その会合からやはりこのCP商品がまだまだ低迷しております我々のCP錠は全体の出荷に対して1.7%とまだ低迷状況にあるわけです。この理由といたしましてはやはり国民の安全に対する意識がまだまだ向上していないことに位置づけまして5団体団結いたしまして10月11日に「安全安心・防犯の日」という制定をさせていただき、今後5団体を中心にCP錠の普及活動を展開していく所存でございます。

2番目に実用性能の認定商品の普及促進活動でございますが実施計画の内容をもとに過酷な試験対応を計り実用性の認定商品をこの世の中に出す予定になっております。今年度に関しましては7社52製品が出揃うという計画になっておりましてそれを機に皆様方へ開くご案内申し上げるということを1つの事業目標としております。

3番目の対応年数ガイドラインの周知活動でございますが日本ロックセキュリティ協同組合のさらなる発展はこの耐用年数で、実はメカニカル商品においては10年、電気錠においては7年というガイドラインを制定いたしまして最終的にこの耐用年数が将来に貢献しているという報告も聞いておりますのでさらなる周知活動を徹底し事業拡大に進めていきたいと思っております。

4番目の錠の保守点検制度の周知活動でございますがこれも日本ロックセキュリティ協同組合の錠施工技師にて、すなわち厚生省の認可制度でございますがこの施工技師が多く生まれることを期待し保守点検制度の周知活動を進めていってもらえれば事業に反映するのではなかろうかと考えます。

輸出促進活動でございますが現在世界でデジタルドアロックの国際規格の制定を議論しているところでございます。これに関しましてもデジタルドアロックすなわちスタンドアロン商品になりますと日本の新しい市場を改革すると同時に輸出の商品にも繋がるのではなかろうかと思っております。我々小さな業界ではございますが世界の市場を期待して改革していくことを1つの目標としております。以上説明の内容でございますけれども我々も新しい目標に向かって一生懸命頑張っていく所存でございますので引き続き皆様方のご支援とご指導を賜りたく思いますのでどうかよろしくお願い申し上げます。

簡単でございますが、ご挨拶に代えさせていただきます。今日は本当にありがとうございました。

全国地域安全運動中央大会

防犯活動の推進に対する功績が認められ加藤会長が感謝状を授与／9月24日（火） 明治記念館

【全国地域安全運動中央大会】10月11日は「安全・安心なまちづくりの日」

この運動は、防犯協会をはじめとする地域安全に関係する機関、団体そして警察が期間を定め、地域安全運動をさらに強化するとともに、その相互間の連携の一層の緊密化を図ることにより、地域安全運動の効果を最大限に上げて一層の浸透と定着を図り、もっと安心して暮らせる美しい地域社会の実現を図ることを目的に昭和52年より毎年開催しているものです。

平成25年は年9月24日に東京・明治記念館において「公益財団法人全国防犯協会連合会設立50周年記念 平成25年全国地域安全運動中央大会」を開催しました。地域安全のために活躍されてこられた防犯功労者、防犯功労団体、功労ボランティア団体、全国地域安全運動キャンペーンの公募ポスター・標語の最優秀賞受賞者の表彰を行い、また、50周年記念大会であることから、特別功労、正会員、特別会員、賛助会員等、永年勤続職員に感謝状を贈呈しました。大会は盛大に執り行われました。



全国地域安全運動中央大会／明治記念館



全国防犯協会連合会より感謝状を授与

安全・安心「防犯の日」今年度のスローガンは「我が家を守る CP 商品」

平成25年10月11日に“安全・安心「防犯の日」”を制定

【防犯運動の必要性と対策】

- 今日まで9月1日を防災の日と定められており、各党、各省庁、地方自治体などが中心となり防災運動が展開されメディアも大きなニュースとして取り上げている。その一方、防犯に関しては表現性に富んだインパクトある一語「防犯の日」とする運動用語が無く、各団体・各企業・各地域・各地方自治体などばらばらの運動として防犯の日を謳っているのが現状である。
将来的に、現在のばらばらの運動を今後10月11日に集中させ、国民と共に官民合同の運動に繋げ国民の防犯意識の向上と世界に誇る治安国、更には政府が掲げる「世界一安全な日本」に繋げていきたい。
- ユーザーおよび関連業者の防犯意識向上には地道な対応が不可欠であるが、毎年10月11日に固定化された“安全・安心「防犯の日」”を全国運動とする事によって徐々にではあるが「意識改革」が進展することと思う。
(公財)全国防犯協会連合会が中心となり全国の防犯協会と地方自治体が一体となって運動が行われているが、その地域活動に加え全国民が10月11日に一堂に会し防犯意識改革を訴えることが我々の目的である。

実用性能認定制度 JLMA 試験所

株式会社長沢製作所 製品性能試験センターが、平成26年3月に新たに登録されました。【認定番号】JLMA-12

■ 実用性能認定制度 JLMA 試験所一覧

平成26年4月1日

認定番号	認定日	会社名	試験所名	区 分					
				使用頻度による性能	外力に対する性能	使用扉の質量に対する性能	耐じん性能	鍵違い	デッドボルトの出寸法
JLMA-1	平成20年11月13日	美和ロック(株)	玉城工場 商品評価試験場	○	○	○	○	○	○
JLMA-2	平成21年3月24日	(株)シブタニ	SLC 試験室	○	○	○	—	○	○
JLMA-3	平成21年3月24日	(株)ユニオン	本社棟地下試験室ホクデン工業(株)試験室	○	—	○	—	—	—
JLMA-4	平成21年4月27日	(株)ゴール	九州工場試験室	○	○	○	◎	○	○
JLMA-5	平成21年4月27日	(株)堀商店	堀ロック工業(株)内試験室	○	○	○	—	○	○
JLMA-6	平成22年12月10日	(株)ユーシン・ショウワ	京都工場試験所	○	○	○	—	○	○
JLMA-7	平成22年12月17日	(株)WESTinx	WESTinx 試験センター	○	○	○	—	○	○
JLMA-8	平成22年12月28日	日本カバ(株)	日本カバ・実用性能認定制度試験所	○	—	—	—	○	—
JLMA-9	平成22年12月28日	(株)アルファ	住設機器事業部 JLMA 試験所	○	○	○	○	○	○
JLMA-10	平成22年12月28日	(株)オプナス	埼玉工場製品試験室	○	○	○	—	○	○
JLMA-11	平成23年4月8日	(株)川口技研	川口技研試験所	○	○	○	—	○	○
JLMA-12	平成26年3月27日	(株)長沢製作所	製品性能試験センター	◎	◎	◎	—	◎	◎

※◎印は新規認定項目

「住宅部品点検の日」シンポジウムについて

第2回「住宅部品点検の日」シンポジウム 平成25年10月10日 すまい・るホール/東京

リビングアメニティ協会は、10月10日、「住宅部品点検の日」と定めたことを記念して第2回シンポジウムをすまい・るホールにおいて開催し、会員、来賓を含め250名参加いただいた。来賓の挨拶を国土交通省住宅生産課伊藤課長にいただいた。また、開会挨拶として、リビングアメニティ協会の住宅部品点検推進部会の森本部長よりリビングアメニティ協会における住宅部品点検推進活動の取組について説明をおこなった。明治大学向殿名誉教授の基調講演、東京都市大学信太准教授の研究報告に続き、プレゼンテーション及びパネルディスカッションがおこなわれた。プレゼンテーションは、JLMA 業務・研修部会の高岡氏が、錠の保守点検制度について発表した。



第2回「住宅部品点検の日」シンポジウムにて点検取組事例を報告する高岡氏<左側>



第2回「住宅部品点検の日」シンポジウム告知ポスター

「次世代防犯ボランティアリーダー育成プログラム研修会」開催

公益財団法人全国防犯協会連合会（全防連）は、平成26年1月18日（土）、宮城県仙台市のKKRホテル仙台で、「次世代防犯ボランティアリーダー育成プログラム研修会」【東北地区】を、1月28日（火）、福岡県福岡市電機ビル共創館カンファレンスで「次世代防犯ボランティアリーダー育成プログラム研修会」【九州地区】を開催した。

この研修会は、現役世代の防犯ボランティアの方々に、高齢化が進む防犯ボランティア団体の次世代リーダーになってもらい、活動の活性化を図ることを目的に実施した。【東北地区】の研修会には北海道東北1道6県から約60名、【九州地区】の研修会には九州地区8県から役70名のボランティアの皆さんが参加し、真剣に学んで帰りました。

1 【開催会場】

①東北地区/平成26年1月18日（土）〈出席者：60名〉

●会場：KKRホテル仙台/3階 朝日の間・2階 磐梯の間 宮城県仙台市青葉区錦町 1-8-17 TEL.022-225-5201

②九州地区/平成26年1月28日（火）〈出席者：74名〉

●会場：電気ビル共創館/3階共創館カンファレンスA(大会議室) 福岡県福岡市中央区渡辺通 2-1-82 TEL.0120-222-084

③中部地区/平成26年2月15日（土）〈出席者：67名〉

●会場：KKRホテル名古屋/3階 芙蓉の間 愛知県名古屋市中区三の丸 1-5-1 TEL.052-201-3326

《参加者合計 201名》

【研修会進行】

- 12:00 受付開始
- 12:30 開催挨拶、オリエンテーション等
- 12:40 講師による都市防犯の講義
- 13:10 安全性の高い建材について(5団体防犯建物部品普及促進協議会による)
- 13:55 講師による、子どもの犯罪被害等についての講義
～子どもの犯罪被害防止のための訓練方法について体験学習等
- 16:15 自由討議(講師への質問、参加者同士での意見交換など)
- 16:45 事務連絡、挨拶
- 17:00 閉会

【全国防犯協会連合会事務局窓口】

経理課長 元田 幹夫
業務第一課係長 佐藤 一誠

【5団体防犯建物部品普及促進協議会説明スタッフ】

板硝子協会 鈴木 正行
(一社)日本シャッター・ドア協会 三縄 浩一
日本ロック工業会 木村 昌充



KKRホテル仙台/3階 朝日の間・2階 磐梯の間



電気ビル共創館/3階共創館カンファレンスA(大会議室)



KKRホテル名古屋/3階 芙蓉の間

防犯建物部品（CP錠）の展示コーナーの増設

5団体防犯建物部品普及促進協議会の活動をご理解いただき、警視庁のご協力により広報センター警察参考室（千代田区）および広報センター警察博物館（中央区）に侵入窃盗防止の広報活動の一環としてCP制度に関するパネル・一部商品の展示がされております。

- ◆問い合わせ先 警視庁広報課：TEL 03-3581-4321
- 広報センター警察参考室：東京都千代田区霞が関2-1-1
- 広報センター警察博物館：東京都中央区京橋3-5-1



警察参考室



警察博物館

〈住宅性能表示制度の見直し〉 必須／選択項目の範囲の見直し

- 住宅性能表示制度の多様な事業者での利用が進み、より多くの住宅取得者が住宅の性能に関する情報を得られる環境整備を行うため、必須／選択項目の範囲を見直す。
- 必須項目は、住宅取得者等の関心の高い項目、建設後では調査しにくい項目を対象とする。

住宅性能表示制度の評価項目		新築住宅	
		現行	見直し案
①	構造の安定に関すること	●	●
②	火災時の安全に関すること	●	○
③	劣化の軽減に関すること	●	●
④	維持管理・更新への配慮に関すること	●	●
⑤	温熱環境に関すること	●	●
⑥	空気環境に関すること	●	○
⑦	光・視環境に関すること	●	○
⑧	音環境に関すること	○	○
⑨	高齢者等への配慮に関すること	●	○
⑩	防犯に関すること	●	○

(注)●は必須項目、○は選択項目。

施行時期

○平成27年4月施工予定

部会編成会社一覧表〈平成26年度〉

業務・研修部会 Activities and Training Committee 9社

部会長 [理事会]	株式会社	ゴール
副部会長 [副会長]	株式会社	アルファ
副部会長 [理事会]	株式会社	ユーシン・ショウワ
部員 [理事会]	株式会社	アート
部員 [理事会]	株式会社	WEST in x
部員 [理事会]	株式会社	オプナス
部員 [理事会]	株式会社	ベスト
部員 [理事会]	美和ロック 株式会社	
部員 [理事会]	株式会社	ユニオン

技術部会 Technology Committee 13社

部会長 [理事会]	美和ロック 株式会社	
副部会長 [理事会]	株式会社	ゴール
副部会長 [理事会]	株式会社	WEST in x
部員 [副会長]	株式会社	アルファ
部員 [理事会]	株式会社	オプナス
部員 [理事会]	株式会社	川口技研
部員	株式会社	シブタニ
部員	株式会社	長沢製作所
部員 [会長]	日本カバ 株式会社	
部員	株式会社	日中製作所
部員	合資会社	堀商店
部員	株式会社	ヤナイ
部員 [理事会]	株式会社	ユーシン・ショウワ

制度部会 (実用性能審査会) Systems Committee 12社

部会長 [会長]	日本カバ 株式会社	
副部会長 [理事会]	美和ロック 株式会社	
副部会長 [理事会]	株式会社	川口技研
部員 [副会長]	株式会社	アルファ
部員 [理事会]	株式会社	WEST in x
部員 [理事会]	株式会社	オプナス
部員 [理事会]	株式会社	計電産業
部員 [理事会]	株式会社	ゴール
部員 [理事会]	株式会社	シブタニ
部員 [理事会]	合資会社	堀商店
部員 [理事会]	株式会社	ユーシン・ショウワ
部員 [理事会]	株式会社	ユニオン

CP審査委員会 CP Screening Committee 10社

[副会長]	株式会社	アルファ
[理事会]	株式会社	WEST in x
[理事会]	株式会社	オプナス
[理事会]	株式会社	川口技研 (空錠)
[理事会]	株式会社	ゴール
	株式会社	シブタニ
[会長]	日本カバ 株式会社	
	合資会社	堀商店
[理事会]	美和ロック 株式会社	
[理事会]	株式会社	ユーシン・ショウワ

☞審査委員会は、技術的案件的全ての審査に対して、公平・平等の観点から、部会長・副部会長制度は設けておりません。

会員会社情報

【入会会員／賛助会員1社】	○入会日 / 平成26年 4月 1日付	社名・株式会社東海理化電機製作所
【退会会員／正会員1社】	○退会日 / 平成25年 5月21日付	社名・株式会社クローバー
【種別変更／賛助会員から正会員】	○登録日 / 平成25年12月11日付	社名・株式会社ヤナイ
【会員代表責任者変更】	○登録日 / 平成25年12月11日付	社名・株式会社計電産業 〈旧〉常務取締役 林 誠二 → 〈新〉執行役員工場長 片海 好正
	○登録日 / 平成25年12月11日付	社名・株式会社ユーシン・ショウワ 〈旧〉代表取締役社長 井門 厚 → 〈新〉代表取締役社長 新山 弘之



JLMA® 日本ロック工業会
<http://www.jlma.org>

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-7-2
TEL.03-3518-9938 FAX.03-3518-9939